

ここから未来へ

No.4

輪島市立門前学園

令和8年6月26日

文責 教頭



子どもたちの目線で

先日実施したいじめアンケートでは、児童生徒に加え保護者の皆さまにもご協力いただきました。お忙しい中、ご回答いただき感謝申し上げます。アンケートの自由記載の欄にはいくつかのご意見をいただきました。いずれのご意見もお子様を思う温かい気持ちが込められているだけでなく、友達のことにも気遣う思いにあふれていました。学校としても気が引き締まる思いです。また、「いじめには様々な立場や思いがあり、親としても対応の難しさを感じる」というご意見もいただきました。学校としても同じように難しさを感じています。いじめ問題は、誰か一人を責めれば解決するほど単純ではありません。しかし、どのような場合であっても、私たちが見失ってはならないのは「子どもたちが安心して学校生活を送れるか」という視点です。保護者の皆様からいただいた声を大切にしながら、今後も子どもたちの様子を丁寧に見守り、必要な対応を進めてまいります。

そんなことを考えていた折、1年生の学年通信に微笑ましい話を目にしました。サッカー日本代表がチュニジアに快勝した翌日、担任が子どもたちに「昨日のサッカー見た？日本が勝ったね」と話しかけたそうです。ところが返ってきたのは、「見てない。それより、9年生の野球はどうなったんですか。」という言葉だったそうです。大人はついテレビの向こうのスター選手に目を向けがちですが、子どもたちにとってのヒーローは、同じ校舎で学ぶ9年生だったのかもしれません。

門前学園では、前期課程の子どもたちが後期課程の生徒の姿から多くを学びます。そして後期課程の生徒もまた、下級生から見られていることを意識しながら成長していきます。子どもたちは、大人が思う以上に周りの人の姿を見ています。だからこそ学校では、互いを思いやる言葉や行動を大切にしながら、一人一人が安心して過ごせる学校づくりを進めていきたいと思っています。

なお、アンケート結果につきましては、個人情報に配慮しながら、学校全体の状況や取組についてお伝えしてまいります。子どもたちは、日々の学校生活の中で友達との関わり方を学び、成長しています。学校と家庭が同じ方向を向きながら、一人一人が安心して過ごせる門前学園をつくっていきたいと考えています。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



校長 小川由美子

※門前学園のホームページには、本校の「いじめ防止基本方針」が掲載されています。

門前学園ホームページ ⇒ <https://cms.ishikawa-c.ed.jp/monzec/>